

上野中だより

上野村立上野中学校 学校通信
第14号 (文責: 校長 五十嵐貴子)
令和4年11月18日発行



山々が見事な紅葉に染まりました。一本一本、大きさも葉の色も、みんな違う木々ですが、それぞれが冷たくなった空気の中で、太陽の光を浴びて輝きながら、山全体で1枚の絵画のような景色となり、大きな感動を与えてくれました。上中の生徒も、まさにその一本一本の木であり、幹をたくましく太らせながら、空へ空へと夢を膨らませ、全員の力で2学期の行事を成功させ、感動を巻き起こしています。

校内駅伝大会

11月15日(火)、関東一帯は雨の予報でしたが、またしても上野村は雨があがりませんでした。しっとり潤った空気の中、駅伝大会を行いました。3つの団がそれぞれのたすきに思いを込めて、つなぎ、走り、応援しました。



すばらしかったのは、当日の走りだけではありません。本番に向けて、体育の時間に、誰一人弱音を吐くことなく、限界に挑戦し走り続けました。仲間を励まし、仲間の背中を追って、みんなで積み重ねた練習の時間こそ、成長の時間であり、これからは生きる力となりました。今日の悔しさも達成感も心に刻んで、走り続けましょう。



きのこセンター見学 2年生

11月4日(金)、技術科の「栽培」の学習で、2年生が村の産業でもあるきのこセンターに、その栽培の様子や技術、工夫などを学びに行きました。丁寧に説明したり見せていただいたりして、すごさに感動しました。



学校に戻ってからは、実際に栽培の体験学習です。きのこハウスをつくり、その中に菌床を入れて、温度と湿度を管理しながら、毎日、観察をつづけました。その結果・・・。



きのこが生きていることがよくわかり、日々の変化に感動しました。間引いたり収穫したりしながら、お仕事の苦勞の一端も感じられたようです。自分が育てたキノコの味は、格別だったことでしょう。



SDGs 学習会



「リスクと未来を考える」をテーマに、全員でパン屋の経営者として、長く続くよい店にする戦略を考えました。「売り上げ」「店員」「お客さんのニーズ」「地域」など。それに「リスク」も考えなければなりません。結果、全ての班が、様々な出来事(リスク)を乗り越え、目標売り上げを達成しました。経営者として考えた視点が、SDGsのいくつかの目標と関係していたことは、SDGsの考え方や取組が少し身近になった気がします。将来、素敵な経営者が現れる予感がしました。

いろいろな先生にお世話になっています



2年生・薬物乱用防止教室



1年生・心の教室

担任の先生との学びも深い



1年生は道徳で「上野三碑」について学び、上野村にも貴重な歴史の遺産があること、これまでも歴史や文化に触れていたことに気づいて、新鮮な感動がありました。きっと受け継いで守っていつてくれるでしょう。



2年生は、進路学習が始まりました。来年度は、高校入試の方法が変わります。でも、何が変わろうとも、

頑張るのは「今」であり、その積み重ねが未来へと続いているのは確かなこと。今できることは何?努力してほしいです。



3年生は、道徳で「目標をもって学び、困難を乗り越えていくこと」について考えていました。担任の先生と男子6

名の本音トークが素敵な学級です。仲間と支え合い励まし合いながら、希望の春(目標)に向かって学び続けます。